

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	解剖学1	講義	4	80	解剖学、生理学
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸・1年生	今田裕久	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特記事項なし		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>人体を構成する運動器(骨・筋)についての名称・部位の記憶をし、人体図をみても列挙出来るようにする。 骨・筋の名称、部位名のみだけではなく、作用、支配神経等を含めて覚える。 運動器の機能を、関節構造や関節運動も含めて説明できることも目指す。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>運動器(骨・筋)については、文献上の学習だけではなく、実際に主要学習部位の触知も出来るようにする。</p>					
教科書・参考書					
公益社団法人 東洋療法学校協会 編【解剖学 第2版】					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照  ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。  ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。  ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。  ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。  ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。  ※注意  授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。  授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】  ●自己管理不足によって配布プリントの紛失した場合、再配布は原則としておこなわない。(欠席した場合、次回授業までに用意をする。)</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	定期試験(前期・後期)をおこない評価する。			
その他	20	授業内で実施する小テストの合計割合を20点として換算する。 (全小テストの正答割合×20点が評価点となる。)			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		人体の区分と方向 (人体の区分・切断面と方向)		/	今田
2		骨格系1		/	今田
3		骨格系2		/	今田
4		骨格系3		/	今田
5		骨格系4		/	今田
6		骨格系5		/	今田
7		骨格系6		/	今田
8		骨格系7		/	今田
9		骨格系8		/	今田
10		骨格系9		/	今田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		骨格系11		/	今田
12		骨格系12		/	今田
13		骨格系13		/	今田
14		骨格系14		/	今田
15		筋系1		/	今田
16		筋系2		/	今田
17		筋系3		/	今田
18		筋系4		/	今田
19		筋系5		/	今田
20		前期試験		/	今田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		試験解説		/	今田
22		筋系6		/	今田
23		筋系7		/	今田
24		筋系8		/	今田
25		筋系9		/	今田
26		筋系10		/	今田
27		筋系11		/	今田
28		筋系12		/	今田
29		筋系13		/	今田
30		筋系14		/	今田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		筋系15		/	今田
32		筋系16		/	今田
33		筋系17		/	今田
34		筋系18		/	今田
35		筋系19		/	今田
36		復習		/	今田
37		復習		/	今田
38		復習		/	今田
39		後期試験		/	今田
40		解説		/	今田